

# 企業团组织目標管理シート（重点目標）

年度	令和2年度
組織名	新潟東港地域水道用水供給企業団

当初予算（千円）		当初人員（人）		作成日	2020/4/1
【収入】	1,122,195	【正職員】	14	修正日	
【支出】	1,539,302	【その他】	28	評価日	

組織の目的	水道用水供給事業の適切な運営とともに、効率的で透明性のある経営を推進し、安全・安心な水の安定供給を継続的にを行い、受水団体及び当該地域住民から信頼される水道を目指します。
-------	---

No.	重点	視点	目 標	指 標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由等	評価		
				項 目	H29実績	H30実績	H31実績	R2目標					R2結果	
1	1	受水 団体	水道ビジョンを果たすためのマスタープランの実践を基本として企業団施設の維持管理・更新を適切かつ効果的に実施するとともに、施設の耐震化を図り、事故・災害に強い水道の構築を進めます。また、弾力的な運転管理により、24時間継続した安定供給を行います。	浄水場施設耐震化率 (%)	40.9	45.5	50.0	50.0	50.0	H31=11/22 R02=11/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田川水管橋接合部更新工事</li> <li>・紫雲寺橋送水管更新工事</li> <li>・二系2号沈でん池流出部連絡管耐震化工事</li> <li>・排水池機械設備更新工事</li> <li>・薬注室コントロールセンタ更新設計業務</li> </ul>	目標を達成しました。	3	
				調整池施設耐震化率 (%)	30.8	30.8	30.8	30.8	30.8	H31=4/13 R02=4/13				
				浄水場事故による断水件数 (回)	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機事象対応マニュアル</li> <li>・水安全計画</li> </ul>				
2	2	受水 団体	水質検査結果の信頼性を確保するために水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)の堅持と更なる検査技能の向上に努めます。 また、水質異常対策計画等に基づき重点項目を定め、その項目が独自目標内に収まるように管理します。	GLP外部審査及び内部監査において不適合判定を受けない。また厚労省外部精度管理結果において第1群評価を得る(目標達成率:100%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修会参加と内部研修実施</li> <li>・水道GLPの適切な運用</li> <li>・水質管理に関する調査・研究等</li> <li>・厚労省外部精度管理参加</li> <li>・水質検査計画、水質異常対策計画作成</li> <li>・重点項目を目標値を定め管理</li> <li>・臭気度試験の強化</li> </ul>	目標を達成しました。	3
				重点項目(トリハロメタン・農薬・臭気強度・カビ臭・非イオン界面活性剤等)を管理(目標達成率:100%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—				
3	3	財務	起債借入額を制限し、起債残高の著しい増加を抑制します。 事務事業の見直しと経費削減などの取り組みを進め、利益の安定確保につなげます。 施設の更新・耐震化事業に当たっては、既存の一般会計からの出資償制度を最大限活用するなどして、財源の確保を図ります。	給水収益に対する企業債未償還残高の割合 (%)	183.7	170.9	179.7	167.9	168.3	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業費の絞り込みと長期借入額の縮減</li> </ul>	概ね目標を達成しました。	3	
				資金不足比率 (%)	△ 223.9	△ 249.7	△ 250.1	△ 250.0	△ 250.0	R2年度までの中期財政計画に基づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事費等コスト縮減</li> <li>・出資等既存制度の活用</li> <li>・事務事業の見直し、経費削減</li> </ul>	目標を達成しました。	3	
4	4	人材	水道用水供給事業に必要な知識や技術の取得・継承を目的に、外部研修への積極参加並びに内部研修を充実させます。また異常時の迅速な対応のため、危機管理を想定した訓練の実施と運転操作マニュアルを作成し技術の向上と情報の共有を図ります。	外部研修時間(時間)	9.1	15.0	25.5	16.0	13.1	外部研修の積極活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者の資格取得等研修への積極参加</li> <li>・内部研修の継続</li> <li>・危機事象対応マニュアルに応じた対応訓練</li> <li>・運転操作マニュアルの作成</li> </ul>	概ね目標を達成しました。	3	
				内部研修時間(時間)	10.9	10.0	16.7	11.0	9.9	内部研修の充実				
				訓練実施回数(回)	0	1	1	1	1					
5	5	業務	水道工事の建設副産物の再利用に努め、地球環境保全に配慮した水道事業運営を進めます。 給与・会計等システムの安定稼働に努め、業務時間の短縮を図ります。	再生路盤材使用率 (%)	100.0	—	100.0	100.0	100.0	再生クラッシャーラン砕石RC-40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生材の継続的な使用</li> <li>・マニュアルの作成及び職員の習熟</li> </ul>	目標を達成しました。	4	
				年間一人当たり時間外勤務数(総務係職員)	75.0	32.0	40.0	30.0	15.5	—				

## 取り組みについて（目標設定・ウェイト付けの考え方など）

- ・水道ビジョンの実践のため、マスタープラン2011（2014見直し版）に基づく設備の更新や施設の耐震化を推進します。
- ・安全な水供給のための適正な維持管理を引き続き実践します。
- ・安全、安心、安定な水道用水の供給を目的とする水安全計画を着実に実行するとともに異常時対応訓練により、非常時での水供給に備えます。
- ・財政基盤強化のために新規起債の制限と利益の確保に努めます。
- ・人材の育成と技術の継承を多様で豊富な外部研修及び内部研修等により図ります。

## 取り組みの結果について（評価を踏まえた課題分析・方向性など）

- ・全体的には今年度の組織目標を達成することができました。
- ・企業団水道ビジョンを果たすため、マスタープランに基づく更新・耐震化は着実に推進し、次期新ビジョン等に効果的につなげました。
- ・安全、安心、安定供給については施設の適切な維持管理と運転管理を水安全計画を軸ととし、適切に実施出来ました。
- ・将来の事業安定継続のため、起債の制限、事業効率化と経費削減により利益を計上し財源確保につなげました。
- ・人材育成については、コロナ禍で外部研修の機会が無くなりましたが、OJT等工夫を凝らし進めました。